

教育いちかわ



「教育いちかわ」
2月7日号
市川市教育委員会

信篤三つ葉学園 小中一貫教育の取り組み

2022(令和4)年4月に、高谷中ブロック(高谷中学校、信篤小学校、二俣小学校)小中一貫型小学校・中学校※通称「信篤三つ葉学園」がスタートしました。

これまでに、新たな教科として「わが町未来探究科」や中学校教員による国語、算数、理科、体育などの小学校への「乗り入れ授業」、その他にも「オンライン集会」、「部活動見学会」、「小中の特別支援学級交流学习」などの小中一貫教育の取り組みを進めています。

今回は、中学校教員による小学校への「乗り入れ授業」(1月)についてご紹介します。

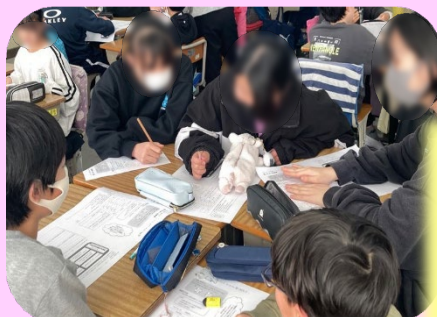


《高谷中学校の国語科の教員による「哲学対話」の授業》

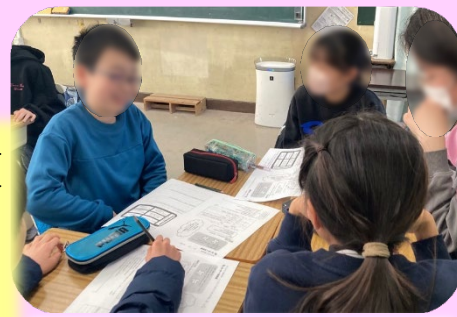
※哲学対話とは、答えのない問いに対して、考えや感じたことを一緒に深めていく対話の在り方のこと。



「中学校」をテーマにグループで話し合いたい問いを決め、自分の考えを整理しました。



問いについての自分の考えを伝え合いました。



友だちの考えについて質疑応答し、お互いの考えを深めました。

対話をしよう！

《高谷中学校教頭による「数学」の授業》



中学校生活のアンケート後に「算数」と「数学」の違いを考えました。



中学校で学習する「正の数」「負の数」について、トランプを使って計算の仕方を考え、友達と一緒に楽しみながら理解を深めました。



哲学対話を学んだ6年生は、「自分とは違う意見が出て、さらに考えが深まった」「学び合うことで、さらに知恵が膨らんだ」と授業の感想を述べていました。

数学を学んだ6年生は、「中学校の勉強は難しいと思っていたけれど、わかりやすく教えてくれたので楽しかった」「中学校での勉強が楽しみになった」とインタビューに答えてくれました。

中学校進学を控え、中学校の先生と触れ合う、貴重な機会になったようです。

【学校環境調整課】